

医学科4年次目次

後期

	区分	授業科目名	
選択	主題	医療手話 1年次参照
選択	主題	社会福祉 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	生活と法律 刑法 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	芸術 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	哲学・倫理学 1年次参照
必修	専門科目	生活生命医学(生活習慣と健康) 1
必修	専門科目	生活生命医学(死と医学) 2
必修	専門科目	社会医学チュートリアル・実習 3
必修	専門科目	産科学 4 ~ 5
必修	専門科目	臨床腫瘍学 6
必修	専門科目	免疫・アレルギー 7
必修	専門科目	老年医学 8
必修	専門科目	麻酔科学(麻酔学) 9
必修	専門科目	救急医学 10
必修	専門科目	医療情報学1 11
必修	専門科目	地域医療体験 12
必修	専門科目	臨床医学特論1 13
必修	専門科目	PBLチュートリアル 14
必修	専門科目	臨床実習入門 15

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は平成26年度入学者を基準としています。

※主題、基幹(人文・社会)から4年次終了までに16単位修得してください。

生活生命医学(生活習慣と健康)

科目到達目標:生活習慣と健康の関連、生活習慣指導について理解・習得する。

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/17(火)	2	421	喫煙と健康、禁煙指導	尾崎 米厚	環境予防医学	喫煙と健康の関連、禁煙指導法が説明できる。	喫煙関連疾患、ニコチン依存症のスクリーニング、ニコチン依存症の治療、受動喫煙防止対策、FCTC
2	10/24(火)	2	421	生活習慣と脳血管疾患	磯 博康	環境予防医学(非常勤講師)	脳血管疾患と生活習慣の関係が説明できる。	脳血管疾患、高血圧、食生活、予防対策
3	11/7(火)	2	421	生活習慣とがん	祖父江 友孝	環境予防医学(非常勤講師)	生活習慣とがんの関係を説明できる。がんの記述疫学を説明できる。	記述疫学の動向、部位別がん、喫煙、食生活、アルコール、がん対策
4	12/27(水)	2	131	生活習慣と原因不明の疾患	中村 好一	環境予防医学(非常勤講師)	原因不明疾患の原因究明の方法が分かる。	川崎病、難病、疫学研究方法論
5	1/9(火)	2	131	アルコールと健康	尾崎 米厚	環境予防医学	アルコールと健康の関連を説明できる。問題飲酒者への介入方法を理解できる。	アルコールと健康の関係、問題飲酒者のスクリーニング、介入・治療方法、関連要因、WHOの世界戦略
6	1/11(木)	2	131	生活習慣への介入行動科学的方法	尾崎 米厚	環境予防医学	生活習慣改善のための介入方法の理論と実際的方法を説明できる。	行動科学理論、行動科学的手法、オペラント条件付け、ヘルス・ビリーフ・モデル、計画的行動理論、汎理論的モデル、社会的学習理論、ソーシャルサポート、コミュニティデザイン、エロジカル・モデル、特定保健指導、ハイリスク・アルコール、ポピュレーション・アプローチ

人間力の要素:教育ブランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

評価:定期試験90%、講義演習での態度10%

生活生命医学(死と医学)

科目到達目標: 死因究明の制度、死因診断の方法とその意義について学び、正しい死亡診断書(死体検案書)の記載方法を知る。

科目責任者(所属教室): 飯野 守男(法医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	9/28(木)	2	421	法医学総論	飯野 守男	法医学	法医学とは何か、その意義・役割を理解する。	法医学の役割
2	10/3(火)	2	421	医療に関する法律	水沼 直樹	法医学 (非常勤講師)	医療を支える法律には、医師及び患者の権利と義務(医師法や民法)のほか、医療制度に関する法律(医療法等)、医療の安全確保のための施策(医療法等)、死因究明のための法制度(死因究明法等)、医療過誤にまつわる責任(民法、刑法、医師法等)等、多岐にわたります。法律はその基本原則を理解することにより応用が容易です。法律家の立場から、医療における法律の仕組みを理解していただきます。	医師の義務と裁量権、医療における安全性確保、医事(各法)、死因究明
3	10/5(木)	2	421	死の判定・死体現象	飯野 守男	法医学	死の判定方法、死の医学的定義および社会的意義を理解する。早期死体現象・晚期死体現象について理解する。	死の判定、三徴候死、脳死、死体現象
4	10/12(木)	2	421	損傷総論・損傷各論1	飯野 守男	法医学	損傷の種類について理解する。	損傷の種類と特徴、鈍器損傷
5	10/19(木)	2	421	損傷各論2	飯野 守男	法医学	鈍器損傷の特徴と成傷機序について理解する。	鈍器損傷
6	10/26(木)	2	421	損傷各論3	飯野 守男	法医学	交通損傷の種類とその死因および社会的問題点について理解する。	交通損傷
7	10/31(火)	2	421	損傷各論4(頭部損傷)	飯野 守男	法医学	頭部損傷の種類とその死因について理解する。	頭部損傷
8	11/2(木)	2	421	窒息総論・各論	小片 守	法医学 (非常勤講師)	窒息の定義、頸部圧迫による窒息とその種類ならびに死体所見について理解する。	窒息、頸部圧迫
9	11/30(木)	1	421	異常環境による死	飯野 守男	法医学	熱傷の種類と病態を理解する。火災死の社会的問題点について理解する。凍死、感電死や飢餓死などについて理解する。	熱傷、凍死と凍死体、凍死、感電死、飢餓死
10	12/7(木)	1	421	内因性急死	飯野 守男	法医学	内因性急死(いわゆる突然死)の病態とその社会的問題点について理解する。	内因性急死、突然死
11	12/14(木)	1	421	個人識別1(歯科鑑定)	藤本 秀子	法医学	歯科領域の個人識別、法医学分野の鑑定について理解する。	個人識別、大規模災害
12	12/21(木)	1	421	個人識別2(白骨鑑定)	飯野 守男	法医学	白骨の個人識別について理解する(年齢、性別、身長、死後経過時間など)。	物体検査、白骨鑑定、個人識別
13	12/26(火)	2	131	妊婦・小児の法医学	飯野 守男	法医学	妊娠に関連した死亡、小児・乳幼児に関する法医学について理解する。	妊産婦死亡、乳幼児突然死症候群、児童虐待
14	1/4(木)	2	131	死後画像診断1	飯野 守男	法医学	死後画像診断(死亡時画像診断、オートプジー・イメージング、AI)の有用性およびその限界について理解する。	死後画像診断、AI
15	1/15(月)	2	131	死後画像診断2	飯野 守男	法医学	死後画像診断(死亡時画像診断、オートプジー・イメージング、AI)の有用性およびその限界について理解する。	死後画像診断、AI
16	1/16(火)	2	131	演習1: 死亡診断書・死体検案書1	飯野 守男	法医学	死亡診断書(死体検案書)の意義、記載法について理解する。実践的演習において記載方法を身に付ける(レポート提出)。	死亡診断書、死体検案書
17	1/17(水)	2	131	演習2: 死亡診断書・死体検案書2	飯野 守男	法医学	死亡診断書(死体検案書)の記載方法について理解する。実践的演習において記載方法を身に付ける(レポート提出)。	死亡診断書、死体検案書

教育プログラムデザインとの関連: 2、4、7

学位授与の方針との関連: 1、2、4

評価: 定期試験 80%

レポート 20%

教科書: 「標準法医学 第7版」池田典昭編、医学書院

参考書: 平成29年度版死亡診断書(死体検案書)記入マニュアル(厚労省HPよりダウンロード)

社会医学チュートリアル・実習

科目到達目標:社会医学に関する知識および考え方を演習を通して習得する。

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
31・32	9/25/(月)	3・4	ETU3-5~13	各班にわかれて実習	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	調査研究の実施。	調査、実験、データ解析、資料整理、分析
33・34	10/2/(月)	3・4	ETU3-5~13	各班にわかれて実習	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	調査研究の実施。	調査、実験、データ解析、資料整理、分析
35・36	10/10/(火)	3・4	ETU3-5~13	各班にわかれて実習	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	調査研究の実施。	調査、実験、データ解析、資料整理、分析
37・38	10/16/(月)	3・4	ETU3-5~13	各班にわかれて実習	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	調査研究の実施。	調査、実験、データ解析、資料整理、分析
39・40	10/23/(月)	3・4	ETU3-5~13	各班にわかれて実習	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	調査研究の実施。	調査、実験、データ解析、資料整理、分析
41~43	10/30/(月)	3・4・5	131	実習発表会	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	各班の学んだことの共有。	社会医学的考えかた
44~46	11/6/(月)	3・4・5	131	実習発表会	黒沢・尾崎・飯野・ 加藤・天野・大谷・ 増本・桑原・金城	社会医学講座	各班の学んだことの共有。	社会医学的考えかた

教育ブランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

評価:定期試験40%、実習点60%(実習態度等)

その他:テーマに沿った実習・演習を行います。テーマは担当分野で行い、班分けは学生間で決めてもらいます。

祝日と重なり実習数が減るので、最後の3回は5限までとして調整します。

産科学

科目到達目標:産科学の病因・病態ならびに治療法を理解する。

科目責任者(所属教室):原田 省(生殖機能医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	9/29(金)	1	131	妊娠の経過	経遠 孝子	女性診療科群	正常妊娠の経過を説明できる。	妊婦健診、妊娠の成立、早産、正期産、過期産、
2	9/29(金)	4	131	妊娠の診断法	原田 崇	総合周産期母子医療センター	妊娠の診断法を説明できる。産科の超音波検査法の所見を説明できる。	妊娠反応、分娩予定日の決定法、超音波検査、BPS
3	10/6(金)	1	131	胎児・胎盤系の発達	経遠 孝子	女性診療科群	胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。	受精、栄養胚葉、胎芽胚葉、卵膜、胎盤、臍帯、羊水
4	10/6(金)	4	131	妊娠に伴う母体変化	上垣 崇	女性診療科群	妊娠に伴う身体的変化を概説できる。	性器の変化、全身の変化、代謝の変化
5	10/13(金)	1	131	異常妊娠(1)	東 幸弘	女性診療科群	妊娠高血圧症候群の病態・管理を説明できる。	妊娠高血圧症候群
6	10/13(金)	4	131	異常妊娠(2)	荒田 和也	生殖機能医学	妊娠初期の異常を説明できる。	妊娠悪阻、流産、異所性妊娠、胎状奇胎
7	10/20(金)	1	131	異常妊娠(3)	東 幸弘	女性診療科群	羊水の異常を説明できる。	羊水過多、羊水過少、羊水塞栓症、巨大児、IUGR
8	10/20(金)	4	131	異常妊娠(4)	荒田 和也	生殖機能医学	妊娠中期以後の異常を説明できる。	多胎妊娠、TTTS、羊水塞栓症
9	10/27(金)	1	131	異常妊娠(5)	原田 崇	総合周産期母子医療センター	妊娠中期以後の異常を説明できる。	早産、細菌性陰症、絨毛膜羊膜炎、前期破水、GBS
10	10/27(金)	4	131	異常妊娠(6)	経遠 孝子	女性診療科群	附属物の異常を説明できる。	前置胎盤、常位胎盤早期剥離、HELLP、子癇
11	11/10(金)	1	131	妊娠合併症(1)	経遠 孝子	女性診療科群	妊娠中の合併症を説明できる。	合併症妊娠(GDM、甲状腺機能異常、自己免疫疾患)
12	11/10(金)	4	131	妊娠合併症(2)	荒田 和也	生殖機能医学	妊娠中の合併症を説明できる。	合併症妊娠(呼吸器、血液疾患、婦人科疾患)、血液型不適合妊娠
13	11/17(金)	1	131	妊娠合併症(3)	経遠 孝子	女性診療科群	妊娠中の合併症を説明できる。	母子感染症
14	12/1(金)	1	131	妊娠合併症(4)	原田 崇	総合周産期母子医療センター	妊娠中の合併症を説明できる。	胎児奇形、染色体異常、放射線被曝、薬の催奇性

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
15	12/8(金)	1	131	分娩の経過(1)	上垣 崇	女性診療科群	正常分娩の経過を説明できる。	分娩の3要素、骨・軟産道、児頭の変形、陣痛、胎勢、胎位
16	12/15(金)	1	131	分娩の経過(2)	東 幸弘	生殖機能医学	正常分娩の経過を説明できる。	分娩の前徴、分娩第1期、分娩第2期、分娩第3期、胎盤の剥離と娩出
17	12/22(金)	1	131	胎児心拍数モニタリング	原田 崇	総合周産期母子医療センター	分娩監視装置による検査法の意義と異常所見を説明できる。胎児心拍数図が判読できる。	CTG、NST、fetal wellbeing、hPL、E3
18	12/28(木)	1	131	異常分娩(1)	東 幸弘	女性診療科群	産道の異常を説明できる。	骨産道、CPD、軟産道強靱症、回旋異常
19	12/28(木)	4	131	異常分娩(2)	荒田 和也	生殖機能医学	産科出血について説明できる。	産科出血(子宮内反症、弛緩出血、癒着胎盤)、産道損傷
20	1/4(木)	1	131	異常分娩(3)	原田 崇	総合周産期母子医療センター	陣痛の異常を説明できる。	微弱陣痛、過強陣痛、遷延分娩、陣痛促進剤、過期産
21	1/5(金)	1	131	産褥	上垣 崇	女性診療科群	産褥の過程と異常産褥の病態を説明できる。乳房・乳腺の妊娠中と授乳期での変化を説明できる。	子宮復古、悪露、乳汁分泌、子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎、血栓症
22	1/5(金)	4	131	産科手術	荒田 和也	生殖機能医学	産科手術を説明できる。	帝王切開術、子宮頸管縫縮術、流産手術、骨盤位分娩、産科救急
23	1/10(水)	1	131	少子化対策に求められるもの—産婦人科医の重要性—	吉村 泰典	生殖機能医学(非常勤講師)	産科学について概要が理解できる。	妊娠および分娩に関する最近話題、統計、関係法規

教育ブランドデザインとの関連: 1. 2. 3. 7.

学位授与の方針との関連: 1. 2. 4.

評価: 定期試験 100%

参考書: 病気が見える vol10 産科 MEDIC MEDIA

臨床腫瘍学

科目到達目標:臨床腫瘍学の基本を理解する。

科目責任者(所属教室):磯本 一(がんセンター)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(木)	4	131	がんの生物学	大山 賢治	がんセンター	がんの発生・進展における生物学的特性について理解する。	がん、増殖シグナル、免疫回避機構
2	10/19(木)	4	131	支持療法・症状管理	阪本 智宏	化学療法センター	副作用対策、症状管理を理解する。	副作用、呼吸器症状、消化器症状
3	11/2(木)	4	131	化学療法	阪本 智宏	化学療法センター	がんの化学療法について理解する。	化学療法、分子標的治療
4	11/16(木)	4	131	標準治療とがん救急	磯本 一	がんセンター	がんの標準治療とがん救急への対応を理解する。	手術、放射線、抗がん剤、がん救急
5	12/7(木)	4	131	疼痛管理	大山 賢治	がんセンター	がん性疼痛の機序と管理法を理解する。	鎮痛薬、鎮痛補助薬、疼痛管理
6	1/4(木)	4	131	予防・検診・診断	磯本 一	がんセンター	発がん予防およびがんの診断について理解する。	集団検診、画像診断、腫瘍マーカー
7	1/11(木)	4	131	心理社会的側面	岡本 敏明	緩和ケアセンター	がん患者や家族の心理を理解する。	精神症状、地域連携、社会的基盤
8	1/15(月)	4	131	臨床試験	大山 賢治	がんセンター	がんの臨床試験について理解する。	インフォームド・コンセント、臨床試験

教育グランドデザインとの関連: 1,2,3

学位授与の方針と関連: 1,2

評価: 定期試験 100%

教科書:がん診療レジデントマニュアル第7版(医学書院)

免疫・アレルギー

科目到達目標: 免疫アレルギー疾患の病態を理解し、診断および治療を説明できる。

科目責任者(所属教室): 竹内 裕美(耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	9/29(金)	3	131	膠原病性肺炎	山崎 章	分子制御内科学	膠原病肺の病態を理解し、症候、診断および治療を説明できる。	膠原病肺、慢性関節リウマチ、強皮症、皮膚筋炎、間質性肺炎
2	10/5(木)	3	131	耳鼻咽喉科領域の免疫アレルギー疾患	竹内 裕美	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	主な耳鼻咽喉科領域の免疫アレルギー疾患の病態、診断、治療を説明できる。	ベーチェット病、シェーグレン症候群、ヴェグナー症候群、鼻アレルギー類似疾患
3	10/6(金)	3	131	アナフィラキシー	山崎 章	分子制御内科学	アナフィラキシーの病態を理解し、症候、診断および治療を説明できる。	アナフィラキシー、ショック、IgE、ハチ、皮下
4	10/13(金)	3	131	悪性関節リウマチ	山崎 章	分子制御内科学	悪性関節リウマチの病態を理解し、症候、診断および治療を説明できる。	悪性関節リウマチ、全身性動脈炎型、末梢動脈炎型
5	10/19(木)	3	131	薬物アレルギー	長谷川 純一	薬物治療学	主な薬物アレルギーを列挙し予防策と対処法を説明できる。	薬物アレルギー、薬物有害反応、薬疹、SJS、TEN、薬剤性過敏症候群
6	10/20(金)	3	131	筋炎	足立 正	脳神経内科学	皮膚筋炎、多発筋炎の症候、診断と治療を説明できる。	皮膚筋炎、多発筋炎
7	11/2(木)	3	131	膠原病の皮膚病変	山田 七子	卒後臨床研修センター	膠原病の皮疹を理解し、その種類を列挙できる。	蝶形紅斑、ヘリオトロープ疹、ゴットロン徴候、指尖潰瘍、皮膚硬化、光線過敏、脱毛、マカニックスハンド
8	11/10(金)	3	131	アレルギー性鼻炎	榎本 雅夫	耳鼻咽喉・頭頸部外科学(非常勤講師)	花粉症を含めた鼻アレルギーの病態を理解し、症候、診断、治療を説明できる。	house dust mite、花粉症、IgE、肥満細胞、Th1・Th2、サイトカイン
9	11/16(木)	3	131	血管炎症候群、混合性結合織病(MCTD)	長谷川 泰之	第三内科 診療科群	血管炎症候群の病態、診断、治療が理解できる。	高安病、結節性多発動脈炎、ANCA関連血管炎
10	12/7(木)	3	131	血管炎症候群	長谷川 泰之	第三内科 診療科群	MCTDの病態、診断、治療が理解できる。	抗UI-RNP抗体、ソーセージ様手指、肺高血圧症
11	12/28(木)	3	131	全身性エリテマトーデス(SLE)	岡崎 亮太	第三内科 診療科群	SLEの病態、診断、治療が理解できる。	蝶形紅斑、抗核抗体、中枢神経ループス、ループス腎炎
12	1/4(木)	3	131	強皮症、シェーグレン症候群	岡崎 亮太	第三内科 診療科群	強皮症、シェーグレン症候群の病態、診断、治療が理解できる。	レイノー現象、皮膚硬化、CREST症候群、間質性肺炎
13	1/5(金)	3	131	眼科領域の免疫アレルギー疾患	宮崎 大	眼科	主な眼科領域の免疫アレルギー疾患の病態、診断、治療を説明できる。	ブドウ膜炎、アレルギー性結膜炎、ベーチェット病、シェーグレン症候群、加齢性黄斑変性症
14	1/10(水)	3	131	膠原病の概念	清水 英治	分子制御内科学	リウマチ性疾患・膠原病を説明できる。	全身性自己免疫疾患、自己抗体、多臓器非特異的炎症性疾患
15	1/11(木)	3	131	食物アレルギー	竹内 裕美	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	食物アレルギーの病態、診断、治療を説明できる。	食物アレルギー、口腔アレルギー症候群

教育グラントデザインとの関連: 2.7

学位授与の方針と関連: 1

評価: 定期試験 100%

老年医学

科目到達目標: 高齢者の特性を理解し、老化と関連した主要疾患について説明できる。

科目責任者(所属教室): 花島 律子(脳神経内科学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/27(金)	3	131	総論	野村 哲志	神経内科	高齢者の特徴や特有の病態の理解、対応。	高齢者、老年学と老年医学、老化の定義と学説、遺伝的早老症、健康寿命
2	10/31(火)	1	421	老化と消化器障害	岡野 淳一	機能病態内科学	消化器疾患における老化の理解。	老化と消化器(総論)
3	11/2(木)	1	421	老化と悪性腫瘍	小谷 昌広	分子制御内科学	悪性腫瘍と老化の理解。	疫学、化学療法、手術療法、放射線治療、緩和医療
4	11/7(火)	1	421	老化と消化器障害	岡野 淳一	機能病態内科学	消化器疾患における老化の理解。	高齢者の消化器疾患(各論)
5	11/9(木)	1	421	老化と呼吸器障害	井岸 正	卒後臨床研修センター	呼吸疾患における老化の理解。	高齢者肺炎、誤嚥、嚥下反射、咳反射、ワクチン
6	11/14(火)	1	421	老化と循環器・代謝障害	加藤 克	第一内科診療科群	循環器疾患における老化の理解。	老化の原則、生理的・病的老化、心臓の老化、心筋梗塞、心不全、閉塞性動脈硬化症
7	11/16(木)	1	421	老化と循環器・代謝障害	大倉 裕子	病態情報内科学(非常勤講師)	代謝性疾患における老化の理解。	生活習慣病、動脈硬化症とその危険因子、糖尿病、甲状腺の老化、骨粗鬆症
8	12/27(水)	1	131	老化と神経障害	野村 哲志	神経内科	老化と神経障害の理解。	加齢による神経系の変化、高齢者の神経疾患(各論)

教育プログラムデザインとの関連: 2,3,4

学位授与の方針と関連: 1,4

評価: 定期試験 100%

教科書: 老年医学テキスト改訂3版、日本老年医学会編、2008年、メジカルレビュー社

麻酔科学(麻酔学)

科目到達目標:麻酔科学とその周辺領域の知識を獲得し、患者の全身管理法を説明できる。

科目責任者(所属教室):稲垣 喜三(麻酔・集中治療医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/13(月)	3	421	麻酔科学総論	稲垣 喜三	麻酔・集中治療医学	麻酔の概念の理解と麻酔時や侵襲時の生体反応が説明でき、術前患者評価法と麻酔の適応を考える。	ストレス反応、恒常性維持機構、術前評価
2	11/13(月)	4	421	臨床麻酔科学1	藤井 由衣	手術部 (麻酔診療科群)	周術期の体液管理と電解質管理を理解し、輸液や輸血の適応が説明できる。	輸液法、輸血法、体液・電解質管理
3	11/20(月)	3	421	臨床麻酔科学2	藤井 高宏	麻酔・集中治療医学	吸入麻酔薬と静脈麻酔薬の種類と適応、禁忌、合併症が説明できる。	吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、オピオイド
4	11/20(月)	4	421	臨床麻酔科学3	倉敷 達之	手術部	局所麻酔薬と筋弛緩薬の種類と適応、禁忌、合併症が説明できる。	局所麻酔薬、筋弛緩薬、区域麻酔法
5	11/27(月)	3	421	臨床麻酔科学4	船木 一美	麻酔診療科群	血液凝固系および血栓症を理解するとともに、肺塞栓症の予防と治療が説明できる。	抗凝固法、深在静脈血栓症、肺塞栓症
6	11/27(月)	4	421	麻酔科学各論1	北川 良憲	麻酔診療科群	呼吸器外科の麻酔法と肺循環の特殊性を理解する。	呼吸生理、肺循環、低酸素性肺血管収縮
7	12/4(月)	3	421	麻酔科学各論2	仲宗根 正人	麻酔診療科群	小児や妊婦の病態生理を理解し、麻酔法の選択と適応が説明できる。	小児麻酔、産科麻酔、周産期麻酔管理
8	12/4(月)	4	421	麻酔科学各論3	湊 弘之	麻酔診療科群	代表的な心臓・大血管外科手術の麻酔法と冠循環を理解する。	冠循環、体外循環、心機能評価、心エコー法
9	12/11(月)	3	421	麻酔科学各論4	遠藤 涼	麻酔・集中治療医学	脳神経外科の麻酔法と脳循環の特殊性を理解する。	脳循環、脳保護法、低体温法
10	12/11(月)	4	421	ペインクリニック1	大槻 明広	麻酔診療科群	痛覚伝達経路と疼痛制御機構を理解し、痛みの診断手順が説明できる。	急性痛、慢性痛、下行性抑制系
11	12/18(月)	3	421	ペインクリニック2	青木 亜紀	手術部	疼痛治療に必要な神経ブロック法と薬物の選択と適応が説明できる。	神経ブロック法、鎮痛薬、鎮痛補助薬
12	12/18(月)	4	421	麻酔科学 up to date	稲垣 喜三	麻酔・集中治療医学	最近の麻酔科学の話題から、麻酔科学の進歩を知る。	筋弛緩薬、吸入麻酔薬、モニタリング
13	12/25(月)	3	421	集中治療医学1	船木 一美	麻酔診療科群	急性呼吸不全の病態生理と治療法を理解し、人工呼吸管理が説明できる。	急性肺傷害、ARDS、人工呼吸管理
14	12/25(月)	4	421	集中治療医学2	南 ゆかり	高次集中治療部	急性循環不全の病態生理と治療法を理解し、循環補助法が説明できる。	ショック、循環補助法、循環作動薬
15	1/15(月)	3	421	集中治療医学3	森山 直樹	高次集中治療部	敗血症の病態生理と治療法を理解し、説明できる。	敗血症性ショック、感染症、SIRS

教育グラウンドデザインとの関連:2, 3

学位授与の方針との関連:1, 2, 4

評価:定期試験 75%

レポート 25%

参考書:ミラー麻酔科学 メディカルサイエンスインターナショナル 監修・武田純三 2007年

麻酔科研修ノート改訂2版 診断と治療社 責任編集 稲田英一 2014年

救急医学

科目到達目標: 救急医療システム、災害時医療、および各種救急疾患の診療に関して説明できる。

科目責任者(所属教室): 本間 正人(救急・災害医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	9/25(月)	1	131	救急医学概論	本間 正人	救急・災害医学	救急医療システムや救急医学体系が説明できる。	救急医療システム、救急医学の特殊性、救急医学体系
2	9/25(月)	2	131	心肺蘇生法総論	本間 正人	救急・災害医学	心肺蘇生法の理論を知る。	心肺停止患者の疫学、心停止の心電図、蘇生後脳症、BLS、AED、ACLS、除細動
3	9/26(火)	1	131	救急外来診療	本間 正人	救急・災害医学	救急外来での診療手順、診断法を知る。	救急診療手順、超音波・放射線・採血検査
4	10/2(月)	1	131	外傷学総論	亀岡 聖史	救急・災害医学	病院前救護体制における外傷初療学を知る。	JPTEC、Load & Go、Preventable trauma death
5	10/2(月)	2	131	外傷学各論	亀岡 聖史	救急・災害医学	救急外来における外傷初療学を知る。	JATEC、ABCDEs approach、緊急治療を要する損傷、FAST
6	10/10(火)	1	131	救急外来診療2	本間 正人	救急・災害医学	救急外来で遭遇する致死性の病態を学ぶ。	ショックの定義、分類、病態、アナフィラキシー、PE
7	10/10(火)	2	131	救急前医療	岡田 稔	救急・災害医学 (非常勤講師)	病院救護医療体制について知る	救急隊、救急救命士、メディカルコントロール、特定行為、処置拡大
8	10/16(月)	1	131	熱傷	本間 正人	救急・災害医学	熱傷の診療を知る。	病態、診断、重症度、治療
9	10/16(月)	2	131	病院前医療学と国際援助	生越 智文	救急・災害医学	病院前医療を知る。国際緊急援助隊活動を知る。	ドクターカー、ドクターヘリ、国際援助
10	10/23(月)	1	131	急性中毒学総論	生越 智文	救急・災害医学	各種中毒の診療を知る。	急性中毒の疫学、農薬物の検索、毒物の排除、解毒薬・拮抗薬
11	10/23(月)	2	131	急性中毒学各論	生越 智文	救急・災害医学	各種中毒の診療を知る。	医薬、農薬 工業薬品、ガス、アルコール、自然毒、家庭用品、麻薬中毒
12	10/30(月)	1	131	災害医療総論	本間 正人	救急・災害医学	災害医療体制を知る。	災害拠点病院、DMAT、広域医療搬送、広域災害医療情報システム、被ばく医療
13	10/30(月)	2	131	災害医療総論	本間 正人	救急・災害医学	災害時の診療と医師の役割を知る。	トリアージ、治療、搬送、トリアージタグ、CSCATTT
14	11/6(月)	1	体育館	災害医療各論	本間 正人	救急・災害医学	災害訓練	災害救護訓練
15	11/6(月)	2	体育館	災害医療各論	本間 正人	救急・災害医学	災害訓練	災害救護訓練

教育ブランドデザインとの関連: 2,3,6

学位授与の方針と関連: 2,4

評価: 定期試験70%、小テスト30%

教科書1: 標準救急医学第4版、日本救急医学会、医学書院、2010/04

教科書2: 救急診療指針改訂第4版、日本救急医学会、へるす出版、2011/04

教科書3: JRC蘇生ガイドライン2015、一般社団法人 日本蘇生協議会、医学書院、2016/02

教科書4: 外傷初期診療ガイドライン第3版、へるす出版、2008/10

教科書5: 改訂5版 救急蘇生法の指針2015 医療従事者用、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会、へるす出版2016/11

医療情報学1

科目到達目標: 個人情報保護について理解できる、診療録、電子カルテが参照できる。

科目責任者(所属教室): 近藤 博史(医療情報部)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	12/5(火)	1	131	著作権とe-learning	近藤 博史	医療情報部	著作権とe-learningを説明できる。	著作権、e-learning, LMS
2	12/12(火)	1	131	医療情報学概説	近藤 博史	医療情報部	医療情報について概説できる。	医療情報
3	12/19(火)	1	131	個人情報保護	鈴木 英夫	SDM (非常勤講師)	個人情報保護の概説が説明できる。	個人情報保護法、ガイドライン
4	12/26(火)	1	131	病院情報システム	近藤 博史	医療情報部	病院情報システムが説明できる。	病院情報システム、部門システム
5	1/9(火)	1	131	画像情報システム	近藤 博史	医療情報部	画像情報システムが説明できる。	画像情報、PACS
6	1/16(火)	1	131	カルテの記載	近藤 博史	医療情報部	カルテの記載方法が概説できる。	POMR、SOAP
7	1/18(木)	1	131	電子カルテ	近藤 博史	医療情報部	電子カルテ が概説できる。	電子カルテ
8	1/18(木)	2	131	電子カルテの実際	近藤 博史	医療情報部	電子カルテの現状を説明できる。	電子カルテ

教育ブランドデザインとの関連: 2

学位授与の方針との関連: 4

評価: 定期試験: 80, 小試験: 10, レポート: 10

その他: ★資料配布にもe-learningを使用しますので、必携PCあるいは図書館等のPCで対応してください。授業中に使うことはしません。

地域医療体験

科目の目的: Student doctorとして医療現場で診療するために、「患者中心の医療」を理解する。

科目到達目標: 地域における医療・福祉・介護の活動とチーム医療を体験し、そこで、「患者中心の医療とはなんだろうか?」と自問し続けることができる。
個別目標

- ・ 患者中心の医療の構造を説明できる(知識)
 - ・ 関連付けたものを学生・教員・現場のスタッフに説明できる(スキル)
 - ・ 発表会の準備ができる(スキル)
 - ・ 患者中心の医療と現場で体験したものの関連性を討議することができる(態度)
- 科目責任者(所属教室): 谷口 晋一(地域医療教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	9/27(水)	1	131	地域医療のコンセプト	谷口 晋一	地域医療学	地域医療とその教育について考える。 地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療のあり方を概説できる。	医学教育、地域医療、生涯学習
2	9/27(水)	2	131	分野間連携と介護保険制度	浜田 紀宏	地域医療学	患者を多方面で支えている職種を知る。患者を支える制度の中で介護保険の概要と主治医意見書の作成法を学ぶ。	介護保険制度、主治医意見書、チーム医療
3	9/27(水)	3・4	131	地域医療体験に関するワークショップ	地域医療学講座教員	地域医療学		
4	10/4(水)	1・2	131	地域医療体験に関するワークショップ	地域医療学講座教員	地域医療学		
5	10/4(水)	3・4	131	地域医療体験のオリエンテーション	地域医療学講座教員	地域医療学	地域医療体験全体について注意事項や交通手段について説明します。	
6	10/11(水)	1~4	学外	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・ 地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。 医療現場のスタッフならびに患者と交流する。	地域包括ケア、救急医療、地域医療、病院・診療所
7	10/18(水)	1~4	学外	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・ 地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。 医療現場のスタッフならびに患者と交流する。	地域包括ケア、救急医療、地域医療、病院・診療所
8	10/25(水)	1~4	学外	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・ 地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。 医療現場のスタッフならびに患者と交流する。	地域包括ケア、救急医療、地域医療、病院・診療所
9	11/1(水)	1~4	学外	周辺医療施設に出かけ、地域医療体験を行う	各施設職員・ 地域医療学講座教員	学外医療機関	学外実習を行う。 医療現場のスタッフならびに患者と交流する。	地域包括ケア、救急医療、地域医療、病院・診療所
10	11/8(水)	2~4	131	成果に関するワークショップと総括	地域医療学講座教員	地域医療学		地域包括ケア、救急医療、地域医療、病院・診療所

教育ブランドデザインとの関連: 1、3、4、5、6、7 学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

評価: 各施設職員による評価、eポートフォリオに対する形成的評価、報告会での発表を加味して総合的に判断する。

eポートフォリオに関して: 各医療機関における学び、気づきを要領に沿って、eポートフォリオに入力してもらいます。入力期限は同じ週の金曜日。

実習の振り返り会に関して: 教員が手分けして皆さんの体験内容に対して次週の火曜日までにコメントをつけてフィードバック致します。

本実習に対する学生、参加医療機関からの評価を行うため、11月中旬に西部医師会館(旧湊山球場横)で県西部の医療スタッフ、年内(鳥取市街、場所未定)に県中・東部の医療スタッフを交えたふりかえり会(意見交換会)を行う予定です(期日は調整中)。

ワークシヨップ内で参加者を募りますのでよろしく願います(各班から1名は必ず参加)。

実習を担当する医療機関、交通手段等の詳細は追って連絡します。

9/27の1、2時限講義(谷口・浜田)は臨床医学特論1の定期試験における出題範囲に含めます。

地域医療学テキスト(自治医科大学監修) 医学書院 2009

草場 鉄周: 家庭医療のエッセンス(リジェネラリスト・マスターズ・ジャーナル) カイ書林

藤沼 康樹: 新・総合診療医学—家庭医療学編 第2版 カイ書林

Ian R McWhinney: マクウィニー—家庭医療学 上巻、下巻 ぱーそん書房

臨床医学特論1

科目到達目標: 地域医療に求められる家庭医療の概念を学ぶ。

科目責任者(所属教室): 谷口 晋一(地域医療教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/3(火)	1	323	医療安全管理	大東 美佐子	看護部 (非常勤講師)	インシデント、医療事故に関する基本概念を理解する。病院内で医療事故を防ぐための危機管理の方法を理解する。	医療事故、ヒューマンエラー、インシデント、危機管理
2	10/5(木)	1	323	矯正施設の医療についてJ〜刑務所や少年施設における医療の役割と課題～	西村 重則	広島矯正管区長 (非常勤講師)		
3	10/12(木)	1	323	都市部における総合診療	石田 岳史	さいたま市民医療センター内科 (非常勤講師)	都市部中核病院を中心とした総合診療に関して実践例を通じて概説できる。	総合診療、地域包括医療、プライマリ・ケア、医療人材育成
4	10/19(木)	1	323	地域医療の実践に基づいた臨床研究 (practice based research)	井上 和男	帝京大学地域医療学講座 (非常勤講師)	practice based researchの実践例をレビューし、それを通じて本研究手法の理念と実際を理解する。	practice based research、地域医療、臨床研究
5	10/26(木)	1	323	プライマリ・ケアと家庭医療	松下 明	奈義ファミリークリニック (非常勤講師)	家庭医療学の基礎と実践に関して理解する。	地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア
6	11/8(水)	1	131	鹿児島県の離島・北海道の地域医療について	佐々木 紀仁	厚沢町国民健康保険病院 (非常勤講師)	離島で住民を支えるために医師として何が必要かを考える。	離島医療、総合診療
7	11/10(金)	5	323	地域医療の現状と課題	中川 正久	島根県病院事業管理者 (非常勤講師)		
8	11/16(木)	5	421	鳥取県西部の地域医療と在宅医療	野坂 美仁	鳥取県西部医師会会長 (非常勤講師)	在宅医療の概要を実践例を通じて概説できる。鳥取県西部における医療の現状と医師会活動について概説できる。	医師会、在宅医療、在宅ケア、終末期医療
9	12/8(金)	5	323	地域社会の高齢化に対応できる医療システムの構築	秋下 雅弘	東京大学加齢医学 (非常勤講師)	高齢者医療の特徴を理解し、医療システムとして展開する方策を考える。	高齢者医療、老年症候群

教育ブランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 5, 6, 7

学位授与の方針との関連: 1, 2, 3, 4

評価: レポート内容に対する評価や受講態度に試験結果を加味して、総合的に判断する。

毎回の講義について、指定記録シートにレポートを書き(複製不可)、指定日の期限までに学務課設置の回収箱に提出すること。

なお、外部講師の都合で変更、休講の場合あり。

定期試験: 次の講師による講義内容から出題する: 石田、松下、中川、井上、野坂、佐々木、秋下(補足: 地域医療体験での谷口・浜田を含む)

PBLチュートリアル

科目到達目標：診療参加型臨床実習に対応できる自律的学修能力、問題解決能力を身につける。
グループ学修を通じて、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける

科目責任者(所属教室)：海藤 俊行(学部教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/13(月)	1.2						
2	11/14(火)	2						
3	11/15(水)	1.2						
4	11/16(木)	2						
5	11/17(金)	3.4						
6	11/20(月)	1.2						
7	11/21(火)	2						
8	11/22(水)	1.2						
9	11/24(金)	1.3.4						
10	11/27(月)	1.2	ETU					
11	11/28(火)	2	2-2					
12	11/29(水)	1.2	2-3					
13	11/30(木)	2	2-4					
14	12/1(金)	3.4	3-2					
15	12/4(月)	1.2	3-3					
16	12/5(火)	2	3-4					
17	12/6(水)	1.2	4-3					
18	12/7(木)	2	4-4					
19	12/8(金)	3.4	4-5					
20	12/11(月)	1.2	4-6					
21	12/12(火)	2	4-7					
22	12/13(水)	1.2	122					
23	12/14(木)	2						
24	12/15(金)	3.4						
25	12/18(月)	1.2						
26	12/19(火)	2						
27	12/20(水)	1.2						
28	12/21(木)	2						
29	12/22(金)	3.4						

各コースで設定された課題について、問題点を抽出し、調査を必要に応じて分担任で行う。
学修内容を発表し、討議する。

コース毎に症例のまとめを作成し、提出する。

月曜日1限、水曜日1限、金曜日3限(祝日の場合は別途指定する)はコアタイムです。コアタイム中は、調べものはせず、問題の抽出、学修内容の発表・議論を行う。

各コースの最終時限には小テスト(122)を行う。

各コースの目標はコース毎に設定し、コース開始時に配布する。

手引参照

手引参照

教育ブランドデザインとの関連：1.2.3.5.6.7

評価：各コースのレポート、小テスト、受講態度を評価する。

その他：全出席を原則とし、遅刻は厳禁とする。

学位授与の方針との関連：1.2.3.4

臨床実習入門

科目到達目標： 診療参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)に必要な臨床技能を实地修練する。

科目責任者(所属教室)：海藤 俊行(学部教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	7/5(水)	3.4	SC	<p>静脈採血、医療面接、頭頸部診察、胸部診察・バイタルサインの測定、腹部診察、神経診察、四肢と脊柱、基本的臨床手技、救急・全体状態の把握、医療安全、キャリア教育 上記の内容を講義形式で行う(静脈採血は実習を含む)。</p> <p>実習第1クール 医療面接：ETU2-5~8、頭頸部診察：S2、胸部診察・バイタルサイン：S1、腹部診察：S3、神経診察：S(神)、四肢と脊柱：ETU3-10~13、基本的臨床手技：SC、救急蘇生：ETU3-5~9 各班に分かれて実習を行う。</p> <p>ETU 2-5~8 3-5~9 3-10~13</p> <p>実習第2クール 医療面接：ETU2-5~8、頭頸部診察：S2、胸部診察・バイタルサイン：S1、腹部診察：S3、神経診察：S(神)、四肢と脊柱：ETU3-10~13、基本的臨床手技：SC、救急蘇生：ETU3-5~9 各班に分かれて実習を行う。</p> <p>模擬OSCE</p>	手引参照	手引参照	<p>医師として望ましい態度で患者に接することができる。</p> <p>面接技法をつかうことができる。</p> <p>全身の診察ができる。</p> <p>基本的臨床手技(採血、外科基本手技、心電図、救急蘇生を含む)を実施できる。</p> <p>病歴と身体初見を正しく記載し、問題点を抽出、列挙できる。</p>	
2	9/26(火)	3.4	131					
3	9/28(木)	3.4	131					
4	10/3(火)	3.4	131					
5	10/12(木)	3.4	131					
6	10/17(火)	3.4	131					
7	10/24(火)	3.4	131					
8	10/26(木)	3.4	131					
9	10/31(火)	3.4	131					
10	11/7(火)	3.4	131					
11	11/9(木)	3.4	112					
12	11/14(火)	3.4						
13	11/15(水)	3.4						
14	11/21(火)	3.4						
15	11/22(水)	3.4						
16	11/28(火)	3.4						
17	11/29(水)	3.4						
18	11/30(木)	3.4						
19	12/5(火)	3.4						
20	12/6(水)	3.4						
21	12/12(火)	3.4	SC					
22	12/13(水)	3.4						
23	12/14(木)	3.4	S1					
24	12/19(火)	3.4	S2					
25	12/20(水)	3.4	S3					
26	12/21(木)	3.4	S(神)					
27	12/26(火)	3.4						
28	12/27(水)	3.4						
29	1/9(火)	3.4						
30	1/16(火)	3.4						
31	1/17(水)	3.4						

学位授与の方針との関連：1.2.3.4

教育ブランドデザインとの関連：1.2.3.5.6.7

評価：全出席を原則とし、レポート、実習態度を評価する。

テキスト：臨床実習入門の手引、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目を講義中に配布する。

その他：聴診器、ペンライト、打鍵器、手袋、ガウン、白衣、腕時計等秒計測ができるもの、筆記用具、筆記ボードを各自で準備すること。

採血実習前に説明会を行うので必ず参加すること